

# 夏の里山体験

8月17日(金) ~ 8月19日(日)

IN とちわら子ども自然体験キャンプ場



	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発	川遊び・野菜収穫体験	選択プログラム
2日目	川の源流探し (午前、午後交代プログラム)	畑仕事体験 (午前、午後交代プログラム)	選択プログラム
3日目	思い出クラフト	清掃・施設を出発・解散	

一日目： 毎年、里山の時期は天候が悪いのですが、今年は晴天の中、活動を始めることが出来ました。バスに乗り、キャンプ場に到着すると自分達の住んでいる場所とは違うため、歓声が上がリ、キョロキョロと興奮されていました。落ち葉を活かした名札作りと施設の説明が済んだ後、施設内に流れている川へ遊びに行きました。魚やかニ、何かの幼虫など普段捕まえられないことのできない生き物を捕まえて楽しみました。夕飯は2グループに分かれて、野菜を収穫し、調理するグループと竹の箸を作るグループとに分けられました。全てが初めてづくしで、誰一人サボらず夢中で楽しまれていました。夜は選択プログラムを行いました。グループでどれにするか相談し、活動を行いました。明日もあるので、二回をどうするか等、話されていました。



二日目： 朝食はホットドッグを作りました。行程は簡単ですが、思いの外手間取っておられた方もおられました。朝食後は『源流探し』と『農作業体験』を朝と昼にかけて交互に行いました。農作業は皆あさぼらけ(施設の責任者)の指導のもと、汗をダラダラ掻きながら黙々と頑張っていました。弱音はチラホラ聞こえたりしましたが、グループ内で声を掛け合って励まし合っておられました。源流探しは片道3kmの道のりを一生懸命に歩いて行きました。ゴールの川が生まれる瞬間の場所に感動され、疲れは源流水の冷たさで一気に吹き飛んだようでした。夕食は昨日とは逆のグループが行いました。鶏肉をコーラで煮る料理に興味深々で、具材がなくなっても汁を飲みに来ている方もおられました。



三日目： 朝食後、竹を使った写真立てを作りました。原型はシンプルですが、様々なデコレーションで、個性溢れる作品に仕上がっておりました。急遽この日一人のリーダーが誕生日だったので、グループごとにプレゼントを作るようお願いしました。みんな、バレないように密かに作っていました。その後ろ姿がとてもウキウキしていた感じがします。昼食は本格的な流しそうめんを行いました。これには大人、子ども問わず大興奮で、あっという間に100束を完食しました。清掃を行い、施設を後にするとき、「もっといたい」という声が聞こえてきました。それほど里山の魅力を感じていたのでしょう。



## <キャンプ総括>

里山体験は他のキャンプとは違い、スローライフでゆったりとした時間の流れを提供出来るよう、プログラムを交換したり、選択制にしたりして、のびのびと有意義に活動を展開していただきました。私達が忘れていたものが里山にはある、参加者に伝えましたが、ゆったりとしているが、決して『無駄な時間を過ごさない』事を感じてもらえるよう企画しました。全ての作業が流れており、スムーズに活動を展開出来たと思います。普段の生活が習い事や手伝い、学校等で忙しいからこそ、里山の広い空間を存分に感じてもらえたように思えます。

(竹中 哲郎)